

Open Source Conference 2025 Kyoto

DX♥←データ活用民主化!←OSS?

～「OSSデータベース取り取り時報」連載10周年記念(第1弾)

2025年8月3日

[Part 1] 13:00～

[Part 2] 14:00?～ 14:45



OSS
Consortium

協力

IPA

独立行政法人

情報処理推進機構

このパネルディスカッションの趣旨

デジタル変革のキモはデータ活用。そして、たぶん「オープンさ」も必要。デジタル化 (digitize) されたテキストやデータに基づいた何かの「自動化」が「変革」の力の源泉。

その際に、融通の利かない「IT屋」たちになんとかしてもらわないで、活用したい人／活用したい現場で実現するのが目指す姿・・・じゃないかなと妄想。

データを活用してこんなことができるはず／やりたいけどどう？／やっている人たちがいるよ。

・・・という今回のテーマ設定を受けて、講演ネタにはしにくい話をほじくるなら、やっぱりパネルディスカッションでしょう。



溝口 則行

独立行政法人
情報処理推進機構
(IPA)



大沢 一真

情報経営
イノベーション
専門職大学
(iU)



加藤 光

情報経営
イノベーション
専門職大学
(iU)



竹岡 尚三

株式会社アックス
OSSコンソーシアム



内田 太志

株式会社インプリム
OSSコンソーシアム



鵜川 徹

株式会社
デジタル・ヒュージ
テクノロジー
OSSコンソーシアム

若者目線で考える

“こんなデータ活用があってもいいんじゃない？”

- ビジネス色はゼロでいい (儲かるかどうかは気にしなくていい)
- あとでベテラン達にも感想を聞いてみましょう

大沢 一真さん (情報経営イノベーション専門職大学)

場所を色で表す

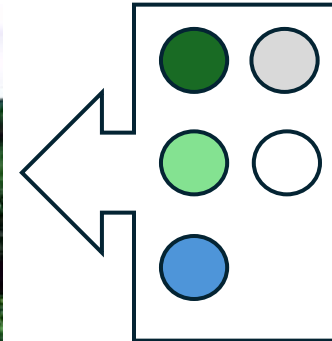
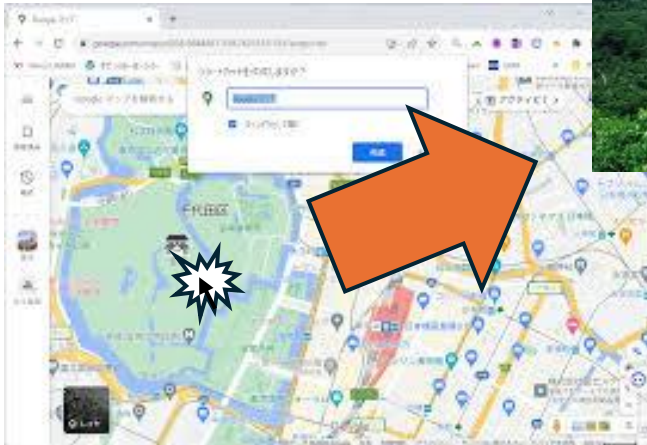
使用するデータ

Google Maps Static API → 場所に関する写真を得る
Street View API

ColorBrewer → 色の表示

詳細

自分が気になった場所、行ってみたい場所などをクリックして、その場所に関する写真を自動で読み込み、写真から色を抽出し、5色くらいに分けてパレットを表示させる。



その場所の雰囲気などを
色で分かりやすく教えてくれる

加藤 光さん (情報経営イノベーション専門職大学)



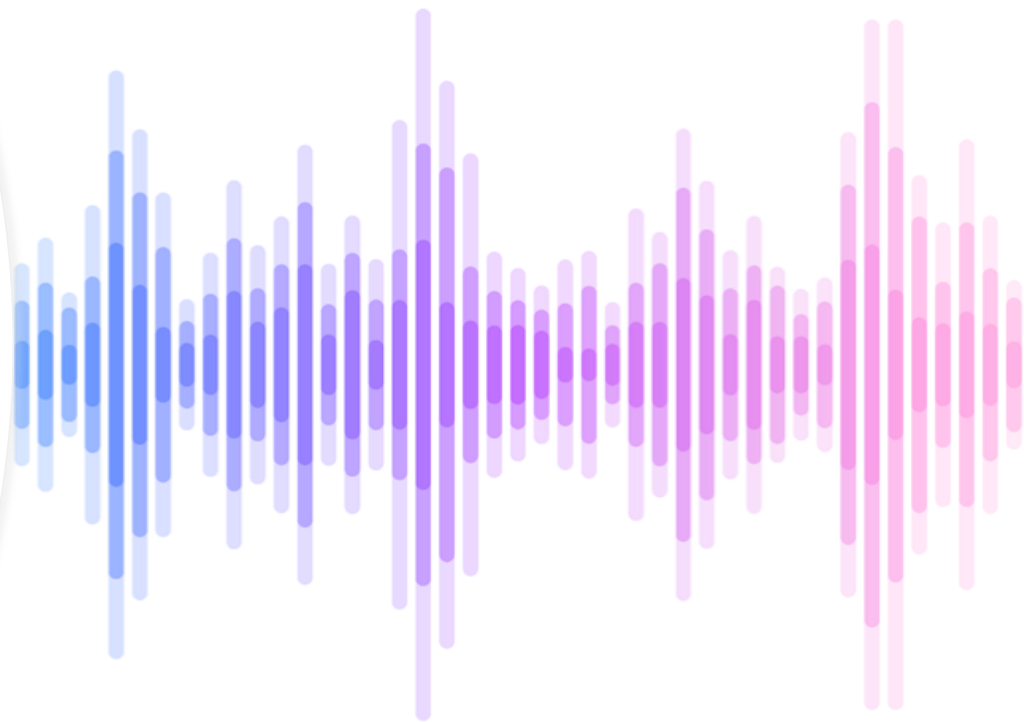
若者目線から考える データ活用方法

加藤 光

データ活用方法アイデア

“誰かの過去”や“街の空気”を音楽で感じる、
新しい共感体験アプリ

ターゲット：10代から30代の音楽を聴き
ながら外出する人



社会的背景

BeRealやwhooなど、「今」を切り取る文化が拡大中



- 仮説

若者は「共感」「エモさ」「経験の共有」に価値を感じるのではないのか

場所 × 音楽 × 共感

サービス内容

- 外に出てイヤホンをつけ、アプリを起動するだけで、位置情報と音楽履歴から、現在いる場所で聞かれた音楽に触れられる

機能一覧

- 1日2回いろんな場所の画像からその画像に合う曲を選択すると広告が30分入らなくなる
- 1日1回通知が来て現在地で聴いている曲をアップすると、マップに友達の位置とそこで聴いている曲が表示される
- Likeモード
自分の好きな曲を再生
- タウンミュージックモード
現在地で人気の楽曲を再生
- ジェネレーションミュージックモード
現在地の同年代に聴かれている曲を再生

使用するデータ

Spotify API / Apple
Music API で再生デー
タ取得

GPSで位置連動、
Firebase/Cloud
Firestoreでデータ管理

Google Maps APIで
マッピング

収益構造

-
- アプリ自体は基本無料(広告あり)
 - プレミアムプラン 広告の非表示 無料との差別化
- 広告収益
- エリア連動型広告
 - 「特定エリアでの再生上位に出現させる」タイアップ形式
- 法人向け
- エリア音楽分析データの提供
 - アーティスト／レーベル向け有料機能
 - 「ファンが自分の曲をどこで聴いているか」 「どの街で流行っているか」

社会的意義

今までは視覚で感じていた街を聴覚と紐付けることで、地域のブランディング・観光・街づくりの応用が期待できる

同じ場所で、同じ音楽を聴いた誰かの存在を感じられることによる孤独感の軽減

「さすがITのプロ達はレベルが違う」 という見解も聞きたい！

- 例1: あらゆるもの(IoT?)から集まってくるデータを自動処理する世界観とか
- 例2: ビジネスパーソンが集まってくるデータから新たな価値を生み出せる世界感とか
- その他自由に

会場からの

ご意見？

ご質問？

DXやデータ活用が民主化された世界感の中で
ITエンジニアはどちらを志す？

a. 技術力を発揮して超優秀なITツール開発

b. 技術を使っておもしろい事業を仕掛ける

- 若者の志望は？
- ベテランは若者にどちらを勧める？
- その真ん中（技術力はあるけど何をやるかは客次第=SIer的な）はもはや無いのか？

まとめ・・・
#まとまるかな？

【最後の宣伝】 from OSSコンソーシアム

- 10月のOSC Online/Fall では、今日のテーマを受けて「データ」に注目したセミナー企画を検討中です。「OSSデータベース取り取り時報」10周年を記念するメイン企画にしたいと考えています。データベースやデータ利用のこれまでを振り返りつつ、これからのデータ活用にも目を向けます。たとえば「データスペース」。ある公的団体(どこでしょう)も巻き込む作戦。どうぞご期待ください。

ご参加ありがとうございました

パネリスト一同

&



OSS
Consortium

IPA

独立行政法人

情報処理推進機構